

学級閉鎖等におけるタブレット端末を活用した教育活動について

令和3年9月15日(水)
府中市教育委員会

1 学級閉鎖等におけるオンラインを活用した学習の実施

◆基本の約束例

- 連絡（学校からのお知らせや時間割など）は、〔ストリーム〕を利用する。
- 提出物（ドリル、健康観察、課題、宿題）は、〔授業〕を利用する。
- 〔Meet〕に参加の時は、「マイクオフ」「カメラオン」
（背景の変更は可能。ぼかす、画像を選ぶ：その他のオプション→背景を変更）
- 〔Meet〕の画面レイアウトは、基本は、〔スポットライト〕を選択する。
（その他のオプション→レイアウトを変更）
- 〔挙手〕を活用する。＜例：分かった人・困ったことがあるとき・意見があるとき＞
- 〔ストリーム〕の使い方の約束を決める。＜例：困ったとき、個別の意見を出すとき＞

◆学習の組立例 ※ 4時間の場合の例

時程	教科等	活動例	オンラインの取組例
	朝の会	健康観察 呼名（通信状況・操作の確認）	・フォームで提出 ・ミュートを外して、一人一人返事 返事のほか、一言ずつテーマを決めて話すなどの工夫をする。 （例：今朝は何時に起きましたか？）
1時間目	国語	振り返り	・指導場面のライブ配信 ・フォームで提出
2時間目	算数 数学 （休憩含む）	通常授業 ドリル	・eライブラリ、東京都ベーシックドリル、計算ドリルなど 自分でやって、分からないところがあるとき挙手
3時間目		確認	・ドリルの時間を作り、最後に答え合わせ、解説など
4時間目	理科 生活	通常授業 動画視聴	・実験を見せる ・NHK for school 等
	帰りの会	健康観察 呼名	・フォームで提出 ・一人一人に、声掛け

◆他の教科等の活動例

社会…単元の学習のまとめをスライドでまとめる。 体育…簡単なストレッチ
学級活動…ジャムボードを活用した共同の活動 技術・家庭…作品作り。手元を映して技術指導
指導場面をライブ配信する場合は、定点から黒板の板書内容等を映す。

◆全校での取組

タブレット端末の基本操作等に関する学習の実施

- ① 児童・生徒が Google Meet を使えるように各学級で学習等を実施し、児童・生徒の基本スキルを確認する。
- ② 教師がタブレット端末を使って児童・生徒へ指示や、画面共有ができるように、校内研修や授業、日常業務の機会に実践して確認する。



9月中にオンライン接続の試行

タブレット端末を活用し、学校・家庭間をオンラインで接続し、授業や学活を実施する。
（目的）
分散登校や学級閉鎖などの実施時の予行及び課題等の確認

2 分散登校とオンラインを活用した学習等の平行実施

◆分散登校の形態

- 1学級を2分の1程度の人数でグループに分け、1グループが1日4単位時間程度登校する日を、毎日（平日）設定する。
- 1グループが登校して授業を受けているときに、もう1グループはオンラインを活用した学習等による自宅学習を行う。
- 給食なし

◆学習の組立例

時程	教科等	登校グループ	自宅学習グループ
		活動例	活動例
	朝の会	健康観察 通信状況・操作の確認	〔Meet〕で参加
1時間目	国語	通常授業	〔Meet〕で参加
2時間目	算数	通常授業	eライブラリ
3時間目	理科	通常授業	課題に取り組む
4時間目	社会	通常授業	〔Meet〕で参加
	帰りの会	連絡など	〔Meet〕で参加

- ※ 自宅学習で取り組んだ課題は、分散登校時に提出する。
- ※ 自宅学習では、定点カメラによる授業のライブ配信のほか、eライブラリやドリル・ワークブック等を活用する。
- ※ どのグループも登校時に同じ内容の授業が受けられるように計画する。

3 午前授業の実施とオンラインを活用した学習

◆午前授業の形態

- 1日4単位時間程度の午前授業を毎日設定する。
- 感染不安や感染予防により登校できない児童・生徒等については、オンラインを活用した学習等により個別の対応を実施する。
- 給食なし

◆オンラインを活用した学習の取組例

- 〔Meet〕を使って、学校と家庭と接続しての朝の会に参加する。
- 〔Meet〕を使って、授業の様子を中継する。
- 〔フォーム〕を使って、健康観察や振り返りテストを実施する。
- 〔ストリーム〕を使って、時間割を配信する。
- eライブラリを使って自宅で学習に取り組む。
- タブレット端末で検索して調べ学習をする。